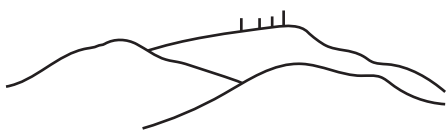


# Youth Manna

2021/3/1 - 3/7



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2021/3/1(月)

## 民数記 31:1-24

モーセは神様から「主の復讐を果たせ」と命じられました。これは、バラムやミディアン人の策略によって、イスラエルが品行(性的な罪)と偶像との関わりを持つようになったからです。神様は、民を「そそのかし、主を冒瀆させた」者たちへの復讐を遂げられました。

神様の復讐を、厳しすぎると感じるだろうか？この時代のカナンの偶像礼拝には、極度の不道徳が伴っていました。イスラエルは神様がこの世を救うために用いようとしている選びの民です。その民を腐敗させ、機能させなくさせる敵の働きに対して、神様は怒りをもって報いられたんだ。

1ペテロ 2:9 を読もう！ 私たちも祝福を受け継ぐために召されたんだ。今、神様から自分を引き離そうとする一切のものから自分を避けよう。イエス様から目を離さずに今日を歩もう！

2021/3/2(火)

## 民数記 31:25-41

イスラエルはミディアン人との戦いに勝ってたくさんの戦利品を得ました。神様はそれを戦士と会衆に二分して分けるように、また戦士が得た戦利品の中から500分の1を主への捧げ物として祭司エルアザルに、会衆の得た戦利品から50分の1を主への捧げ物としてレビ人に渡すように言われました。戦利品を神様の言われた通りに分け合って、主に捧げることを通してこの戦いが主の戦いで、戦いに行った戦士だけでなく祈って待っていた会衆も民全体の勝利だと覚えることができました。

私達はどれくらい与えられているものを感謝しているかな？感謝して分け合えるものはないか考えよう！！

2021/3/3(水)

## 民数記 31:42-54

この箇所では、まず、ミディアン人との戦いで得た分捕り物が会衆の間で分けられ、その五十分の一が、主の命令通りにレビ人に分け与えられた出来事が記されている(42-46)。続いて、軍団の長たちがモーセのもとに進み出て、驚くべき主の恵みを報告する。それは、部下の戦士たちを数えたところ、一人も戦いで欠けていなかったことである(49)。彼らは主に感謝し、規定以上のささげ物をした。

主が驚くべき恵を与えてくださった経験はなんだろうか？思い起こし、感謝を捧げよう。

2021/3/4(木)

## 民数記 32:1-19

荒野を40年間さまよった民が、やっとのことでヨルダン川を渡って、約束の地カナンに入ろうという頃になって、ルベン族とガド族とその他一部の民が家畜を飼うのに適していたヤゼルとギルアデの地を見て、そこに住みたいとモーセに申し出た。神様が与えると約束された地を選ばずに、自分たちの考え、選びを優先しようとした。それに対してモーセは神様の約束に関わるものだと考え、激しくノーと言った。

意見や多様性は必要なことである。しかしそれら全ては神様の内にあることである。

自分自身が神様にある一致(教会の一致)を保つことが出来ているか考えてみよう！

さんごの日

2021/3/5(金)

## 民数記 32:20-42

▶ルベン族とガド族は、約束の地に入る手前にあった土地を欲しがったので、約束の地に入って一緒に戦うと言っていた。モーセはその提案を受け入れた。

▶ルベン族とガド族の言葉(16-19)とモーセの言葉(20-24)では少し違う所がある。モーセは「主の前」という言葉を5回も使っている。モーセは彼らの提案を妥協して受け入れたのではなく、主にあって一致することを求めながら、約束を誠実に実行することを求めたのである。このモーセの言葉をガド族とルベン族は受け入れ、誓った。

▶私たちの内には聖霊なる神様がいてくださるから、私たちの行動は「主の前」にある。このことを覚えて今日を歩もう！

2021/3/6(土)

## 民数記 33:1-40

モーセは神様からの命令によって、エジプトを出てからそれまでの旅でどのように歩んだかを書き記したね。エジプトを出てから、イスラエルの人々は神様に反抗し続けて、その1代目の人たちはカレブとヨシュア以外、死ななくてはいけなくなった。だけど神様はこのイスラエルの民を滅ぼすということはずに、次の世代の人々を約束の地へ導いてくださったね。

この旅の記録を見たとき、人々は人間の罪と同時にそれを上回る神様の愛、導きを感じる事ができたんだ。

私たちの人生も神様は私たちの思いを越えて働かれる！今まで神様が自分の人生に与えてくださったものを思い起こして書き出してみよう！そして感謝しよう！

2021/3/7(日)

## 民数記 33:41-56

主が与えてくださった約束の地に入るために命じられたことは、そこに住む住人を追い払い、偶像や高き所をすべて取り除くことでした。また、それぞれの部族に応じて、土地を割り当てるように命じました。

現代に生きる私たちは、他の人の信仰を排除したり、そこに住む人たちを追い払うことはありません。しかし、私たちの中にある偶像、自分の中で神を神とすることのできない領域を追い払い、唯一の主を礼拝することを、私たちは命じられています。そして、この地に住むようにと与えられた場所、それぞれが遣わされている職場や学校、家庭があります。

御国を受け継ぐことを約束されている私たちがこの地で生きるときに、すべきことはなんでしょうか。一人ひとりが教会としてこの地に生きる私たちに求められていることは何か、静まって考えよう。1ペテロ 3:9 を読んで、神様が私たちに語られていることを思い巡らそう！